

みんなで減らそう食品ロス

～松本市の食品ロス削減の取組みについて～



松本市 環境部 環境政策課

平成31年1月15日(火)
三重県食品ロス対策セミナー
講演資料



◎ 食べものに、
もったいないを、
もういちど。
NO-FOODLOSS PROJECT



美しく生きる。
健康寿命延伸都市・松本



松本市の食品ロス削減の取組み

- ◎ 食品ロス削減事業（H22～）
- ◎ （おそとで）残さず食べよう！30・10運動（H23～）
- ◎ 園児を対象とした参加型環境教育（H24～）
- ◎ 第1回松本市食品ロス調査（H25）
- ◎ （おうちで）残さず食べよう！30・10運動（H26～）
- ◎ 環境教育の実施に伴う効果測定事業（環境省モデル事業）（H27）
- ◎ まつもと「城のまち」フードドライブ（H27～）
- ◎ 小学校環境教育事業（H28～）
- ◎ 残さず食べよう！推進店・事業所認定制度（H28～）
- ◎ 第2回松本市食品ロス調査（H28）
- ◎ 第1回食品ロス削減全国大会開催（H29）
- ◎ 松本山雅FCとの連携（H29～）

など

◇ 食品ロスの現状（国内）

年間の食品ロスの発生量

約**646万**トン

世界全体の食糧援助量
(平成27年)

約**320万**トン

>
約2倍

事業系

約**357万**トン

家庭系

約**289万**トン

国民一人あたりにすると...

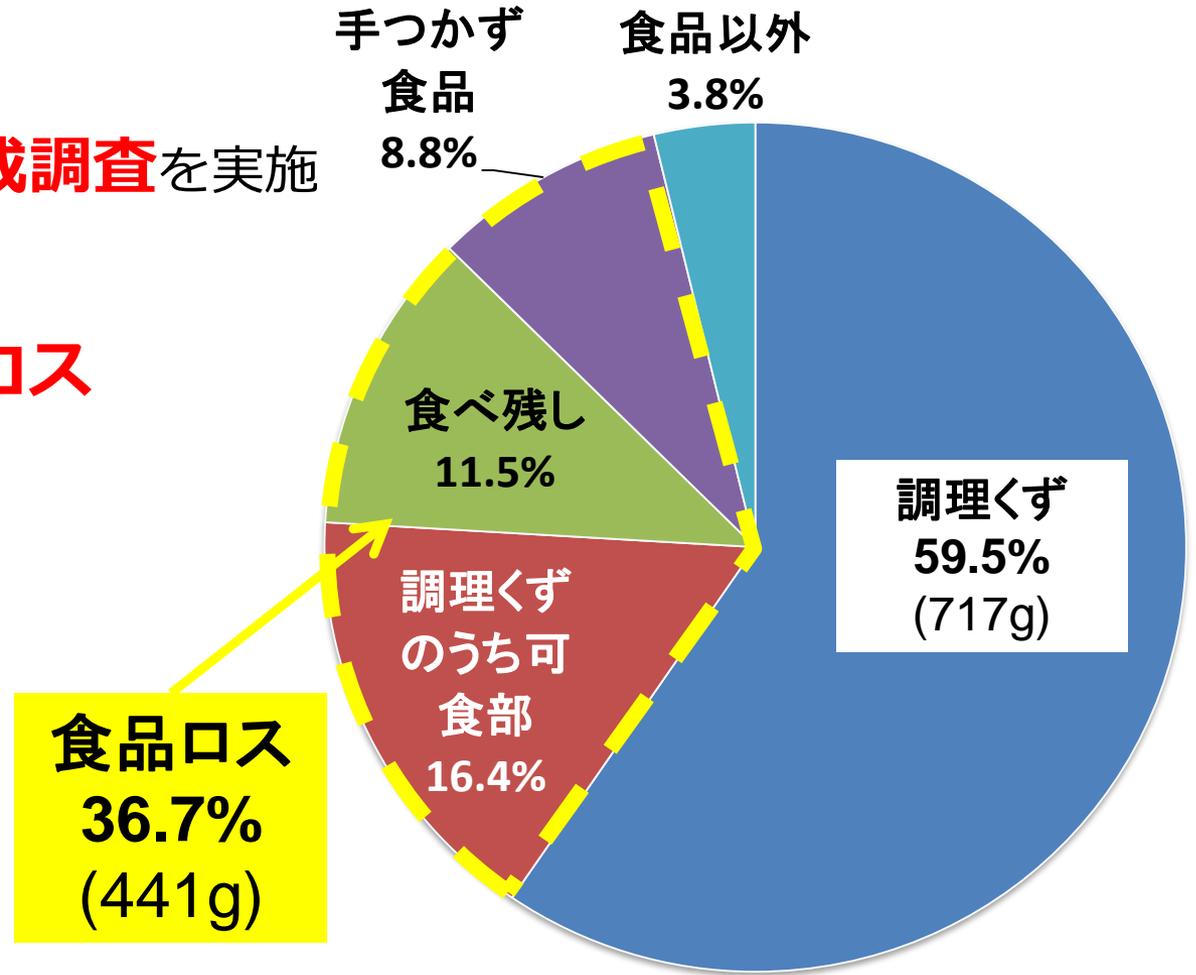
お茶碗約1杯分（約139g）
の食べものを
毎日捨てている！！



◇ 食品ロスの現状（松本市）

◇ H25、28年度に
一般家庭生ごみ組成調査を実施

◇ 生ごみのうち、
36.7%が食品ロス



生ごみに占める食品ロスの割合
(平成28年度松本市食品ロス調査)

◇ **残さず食べよう！30・10運動** 飲食店での食べ残しを減らす取組み

平成23年5月から

大勢での
宴会・会合

乾杯



乾杯後
30分間は
席を立たず
料理を楽しみ
ましょう。

宴会



お開き前
10分間は
自分の席に戻って、
再度料理を
楽しみましょう。

お開き

- ① 注文の際には、適量を注文しましょう。
- ② 乾杯後**30**分間は席を立たず料理を楽しみましょう。
- ③ お開きの前**10**分間は自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう。

◇ 「残さず食べよう！」推進店・事業所認定制度

(食材・料理を提供する側)

飲食店、宿泊施設等

- 1 残さず食べよう！30・10運動の周知又は啓発
- 2 プラチナメニューの提供
- 3 **食べ残しの持ち帰りへの対応**
- 4 小盛りメニューの提供
- 5 その他食品ロス削減に資する取組み

小売店

- 1 食品ロスに関することについての周知又は啓発
- 2 ばら売り、少量パック販売等の実施
- 3 値引き販売による食料品廃棄の抑制
- 4 フードバンク等への提供や食品リサイクルの実施
- 5 その他食品ロス削減に資する取組み

(料理をいただく側)

事業所等

- 1 残さず食べよう！30・10運動の実践
- 2 残さず食べよう！30・10運動又は食品ロスに関することについての事業所内における周知、啓発
- 3 残さず食べよう！30・10運動の実践又は食品ロス削減に関する取組みについての事業所外への広報
- 4 その他食品ロス削減に資する取組み

NEW!!

H30.9~

三二のぼり旗



地元産カラマツ材の看板



二つ以上取り組んでいる店舗や
事業所等を申請に基づき認定



啓発品の提供、HP等での周知

◇ 残さず食べよう！30・10運動 家庭での食品ロスを減らす取組み

背景

食品ロス調査（生ごみ組成調査＋アンケート調査）
により、市内の食品ロスの現状を把握（平成25年度）

- ・ 生ごみの約 **1 / 3** が「食品ロス」
- ・ 多くの**未利用食品**や**野菜の可食部**が廃棄されている
- ・ 市民から、**もったいないクッキング**など**家庭でできる取組み**についての情報を望む声

家庭版「残さず食べよう！30・10運動」を検討

◇ 残さず食べよう！30・10運動 家庭での食べ残しを減らす取組み

毎月30日は冷蔵庫クリーンアップデー

冷蔵庫の中を点検し、賞味期限・消費期限の近いものや野菜・肉等の傷みやすいものを積極的に使用しましょう。

毎月10日はもったいないクッキングデー

特に、今まで食べられるのに捨てられていた野菜の茎や皮等を活用して子どもといっしょに料理をするもったいないクッキングを実施しましょう。



30・10（さんまる・いちまる）で統一し、
語呂良く、覚えやすく！

◇ 松本大学との連携

家庭からの
食品ロス

主には…

過剰除去→まだ食べられる茎や皮などを
多く取り除いてしまったもの

食べ残し→食べ切れずに食べ残してしまったもの

もったいないクッキングレシピの開発

- ◎丸ごと料理
食材を無駄なくまるごと使ったレシピ
- ◎リメイク料理
余った料理を作り変えるレシピ



松本大学地域づくり考房「ゆめ」
チーム「◎いただきます!!」



ブロッコリーの
茎のきんぴら

松本大学

×

松本市

学生の柔軟な発想

食品ロスに関する情報提供
レシピの製本

レシピ掲載サイト「クックパッド」内「消費者庁の
キッチン」にて**全レシピ公開中!**

◇ まつもと「城のまち」フードドライブ

“もったいない”から“ありがとう”へ



食べ物に困っている人がいるのに、たくさんの食べ物が捨てられています。1年間に発生する食品ロスは、約646万トン（平成27年度推計）。その内、家庭から出るものは、約289万トンと半分を占めています。
 “もったいない”から“ありがとう”へご協力をお願いします。

まつもと「城のまち」フードドライブ

日時：平成31年1月17日(木)
 10:00~13:00

場所：松本市役所 東庁舎1階
 市民課相談室（正面玄関入って左）

【寄付していただきたい食品】

**缶詰、カップ麺、レトルト食品、乾麺、お米 など
 保存できるもの**

★寄付いただく食品は、次の下の条件を満たす食品とさせていただきます

- 賞味期限が明記され、**1ヵ月以上あるもの**
- 未開封のもの
- 包装や外装が破損していないもの
- 生鮮食品以外のもの

生活困窮者の支援機関・団体に寄せられる相談の中で食糧支援のニーズが増えています。

電気・ガス・水道などが使えない場合もあるので、特に缶詰などの、調理しないで食べられる食品の提供にご協力をお願いいたします。

【主催】フードバンク信州 【共催】松本市

【問い合わせ先】 ○ NPO法人フードバンク信州
 TEL026-219-3215 FAX026-219-3216
 ○ 松本市環境部 環境政策課
 TEL0263-34-3268 FAX0263-34-0400

持ち寄っていただいた食品は、フードバンク信州を通じて、食料が必要としている困窮世帯や地域の支援団体、福祉施設等にお届けします。



- ・ 毎月第3木曜日に、市役所内にて定例開催
- ・ イベント等に合わせ、土日にも数回開催
- ・ H29年度実績（定例12回+イベント2回の累計）
 →2,844点、1,243kg、268人

◇ まつもと「城のまち」フードドライブ

食品の流れ

ボランティア 市民

主催
フードバンク信州

まつもと城のまち
フードドライブ

広報
松本市
共催

協力
ワーカーズコープ

協力
まいさぽ松本

生活困窮者支援 等

子ども食堂

生活困窮者支援

◇ 参加型環境教育導入の経緯

市民の
「環境を大切に思う心」を
育てるには…

幼児期からの
意識付けが必要

園児を対象とした
環境教育を実施

テーマ 「ごみの分別と食べ残し」

資源を大切にする気持ち

食べ物を作った人への感謝の気持ち

ごみの分別の徹底

食べ残しの削減

ごみの減量化

◇ 参加型環境教育の考え方

キーワード「参加型・とにかく楽しく」

クイズや質問を
行い双方向の
やりとり

アニメーション、
効果音等を
多く使用

笑いの要素も
取り入れ飽きさ
せない

文字は使わず、
視覚的なイメージで

園の意見を
取り入れる



実施対象

市内保育園、幼稚園等の**年長児童**
(平成29年度は50園実施)

実施時期

6月～12月の30分程度

テーマ

「ごみの分別と食べ残し」

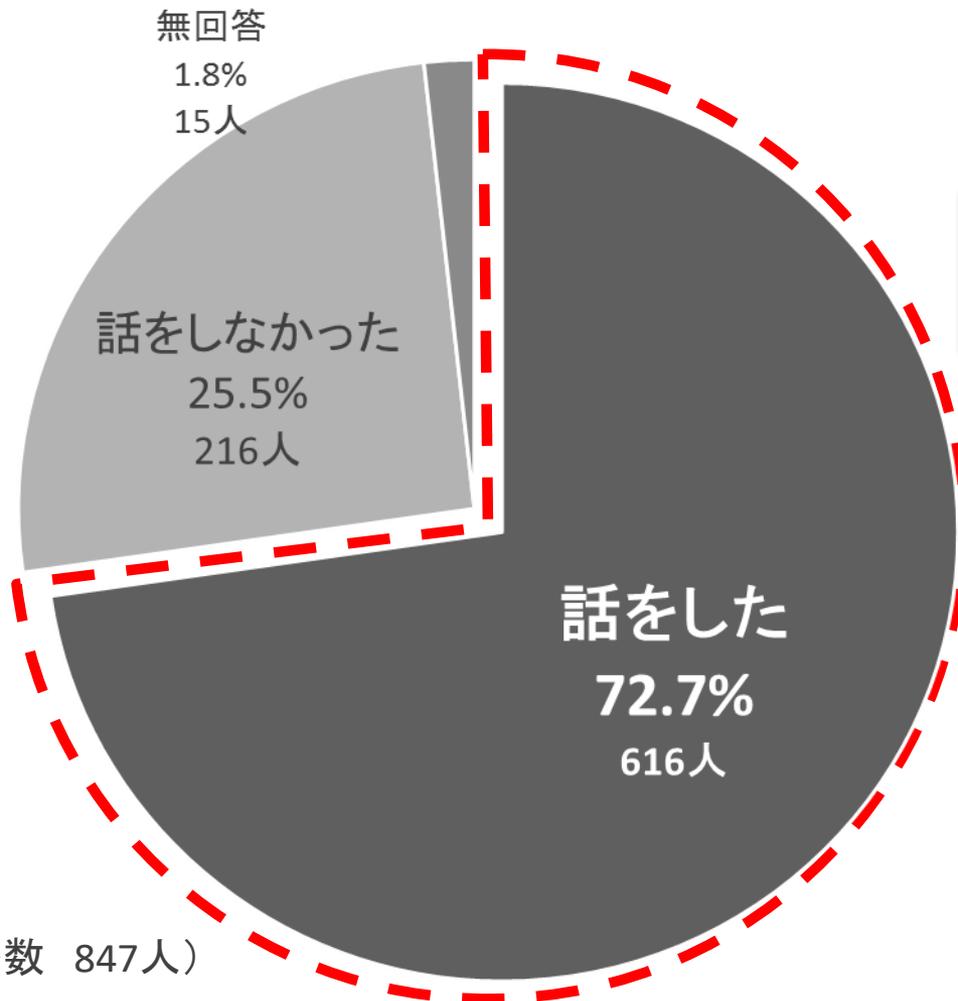
実施方法

園ごとに実施。市職員が説明。



◇ 環境教育の効果の検証（H29アンケート結果）

家庭における環境教育の話の有無

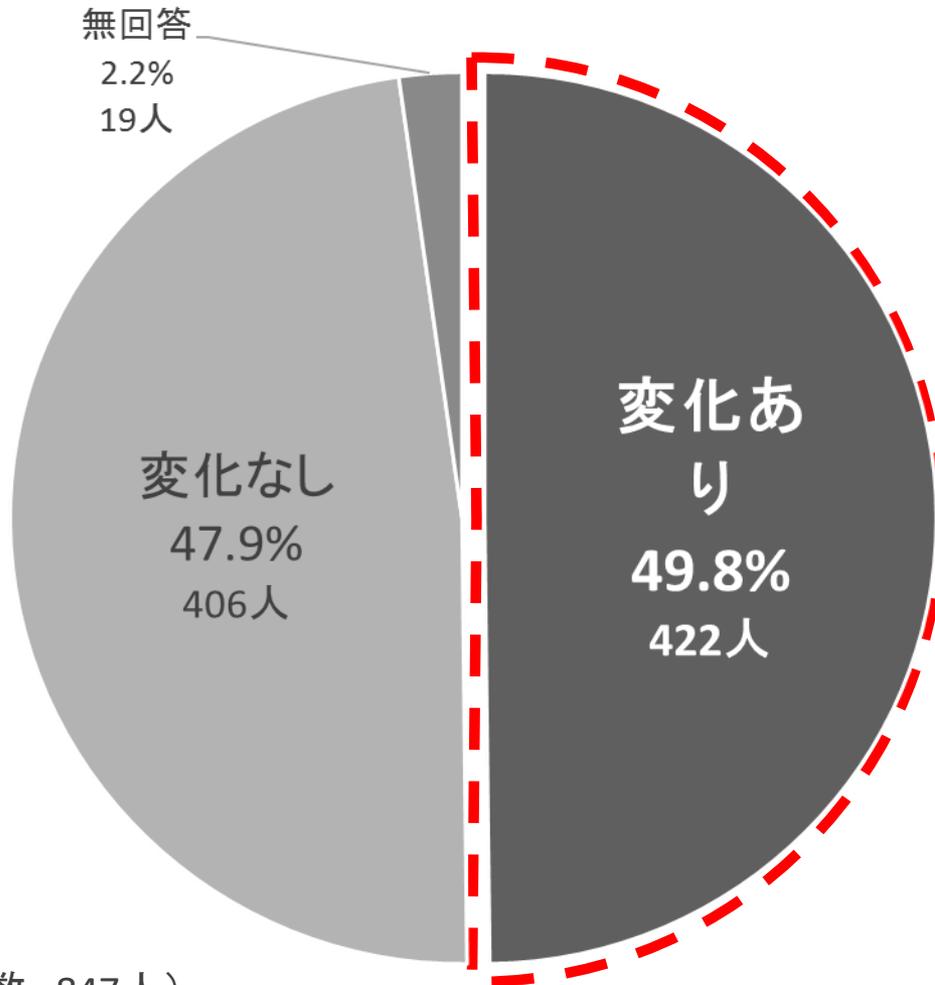


約**7**割の園児が家庭で
保護者に話をすることが分かった。

（回答数 847人）

◇ 環境教育の効果の検証（H29アンケート結果）

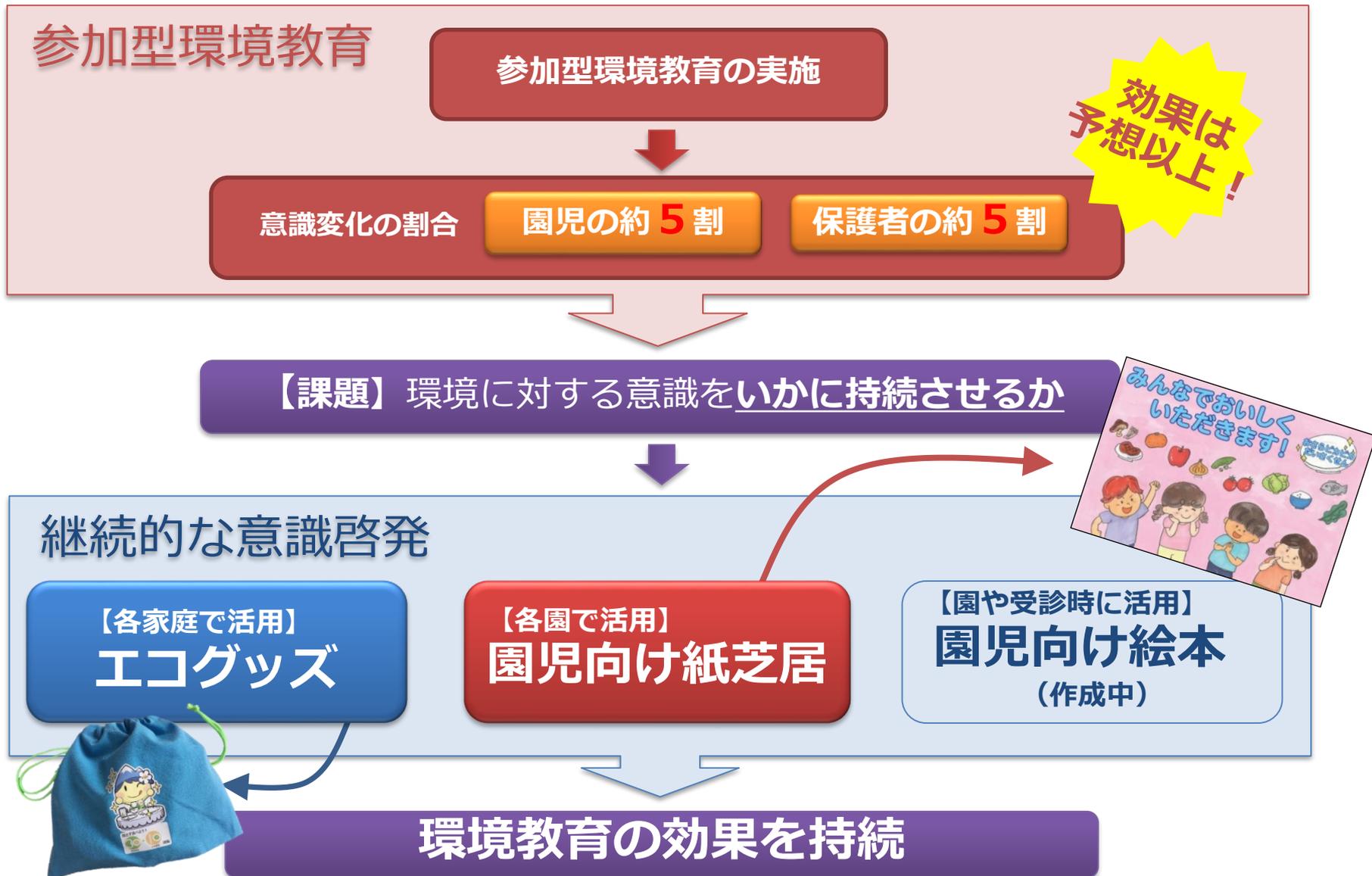
園児の意識や行動の変化の有無



約 **5** 割の園児に
意識や行動の変化が見られた。

(回答数 847人)

◇園児対象の参加型環境教育の展開



◇ 環境教育の実施に伴う効果測定事業（環境省モデル事業）

小学生に対する環境教育の効果を評価・検証

小学校
環境教育



食べ残し量
調査



保護者に対する
意識等変化調査

環境教育に関するアンケート

小学校名	小学校			
学年	学年			
調査年度	調査年度			
調査月	調査月			
調査日	調査日			
調査時間	調査時間			
調査場所	調査場所			
調査対象	調査対象			
調査方法	調査方法			
調査結果	調査結果			

【問1】 貴校では、環境教育の実施状況が、環境教育の推進に大きく貢献していると考えています。その理由を、具体的に教えてください。

【問2】 貴校では、環境教育の実施状況が、環境教育の推進に大きく貢献していると考えています。その理由を、具体的に教えてください。

【問3】 貴校では、環境教育の実施状況が、環境教育の推進に大きく貢献していると考えています。その理由を、具体的に教えてください。

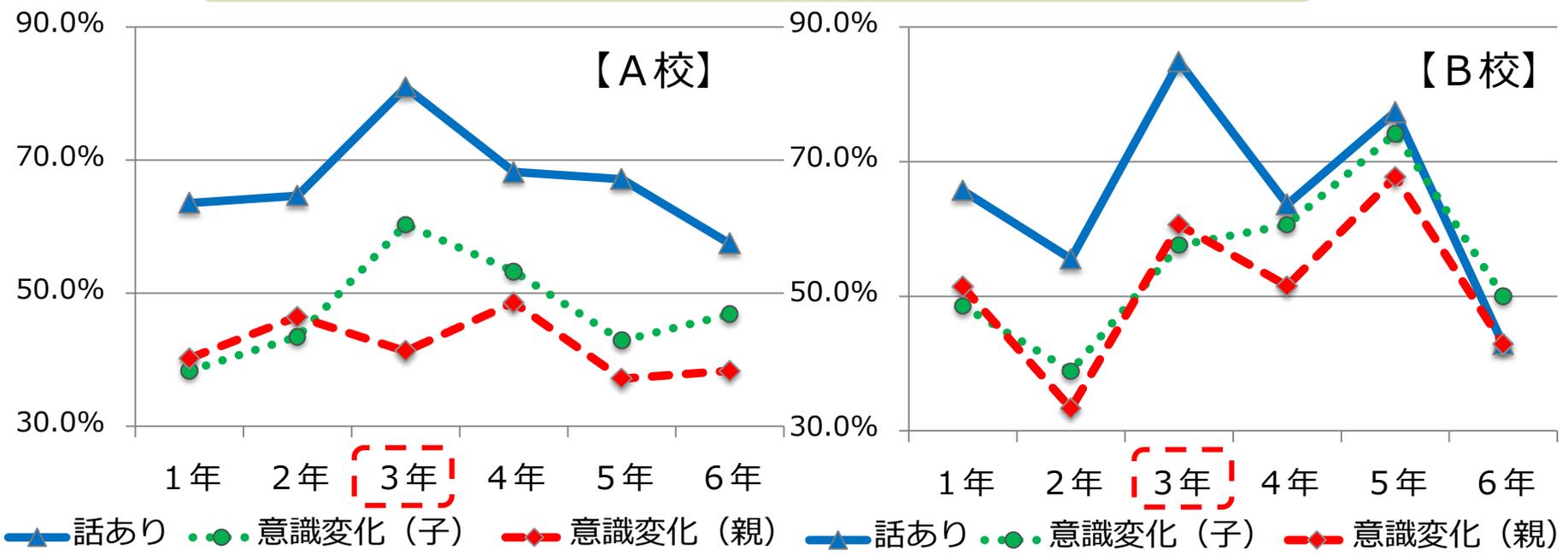
- ◎ 食品ロス・3R等のテーマ
- ◎ 学年毎に双方向で楽しく実施

- ◎ モデル校3校で食べ残し量調査
- ◎ 環境教育実施前後（それぞれ1ヶ月程度）に測定

- ◎ 意識等変化に関するアンケート
- ◎ 子と保護者の意識等の変化等を聞き取り

◇ 環境教育の実施に伴う効果測定事業（環境省モデル事業）

話の有無と意識変化等の有無の関連性



- A校及びB校ともに話をした割合は3年生が最も高い
- 概ね子と親の意識変化はほぼ同じ割合で推移
- 話があった割合は、意識変化の割合と似た推移

→ 翌H28年度から、市内全小学校の3年生を対象に継続的に環境教育を実施

◇ 小学3年生への環境教育

事業概要

実施時期 7月～12月（市内全30校）

実施場所 視聴覚室、多目的室等

実施時間 1時限（45分）

必要物品 プロジェクター、PC、マイク、冊子、レシピ、アンケート
（スクリーンは学校の備品を借用）

実施方法

- ・ 学校ごとに実施
- ・ 市職員が説明



→ マイク、プロジェクター等、必要なものはなるべく持参し、市職員自ら行うことで**教員の負担を軽減**

◇ 小学3年生への環境教育

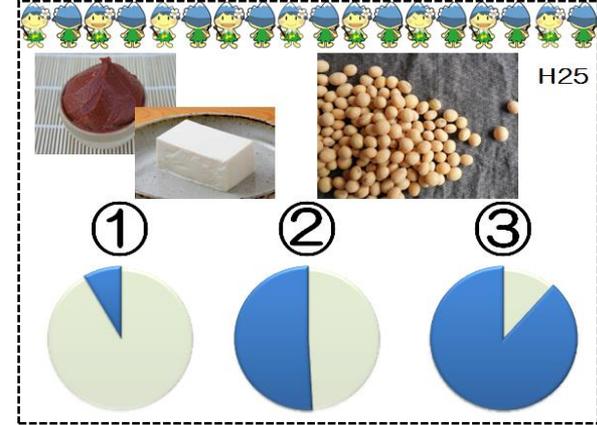
使用するスライド



料理には、様々な材料が使われていること



たくさんの人や資源が関与していること



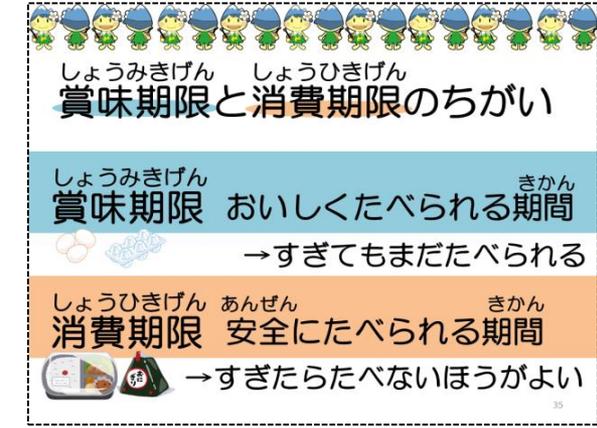
食料自給率など
(クイズで説明)



世界には、食料不足の子どもたちがいること



それでも食品ロスが出ていること

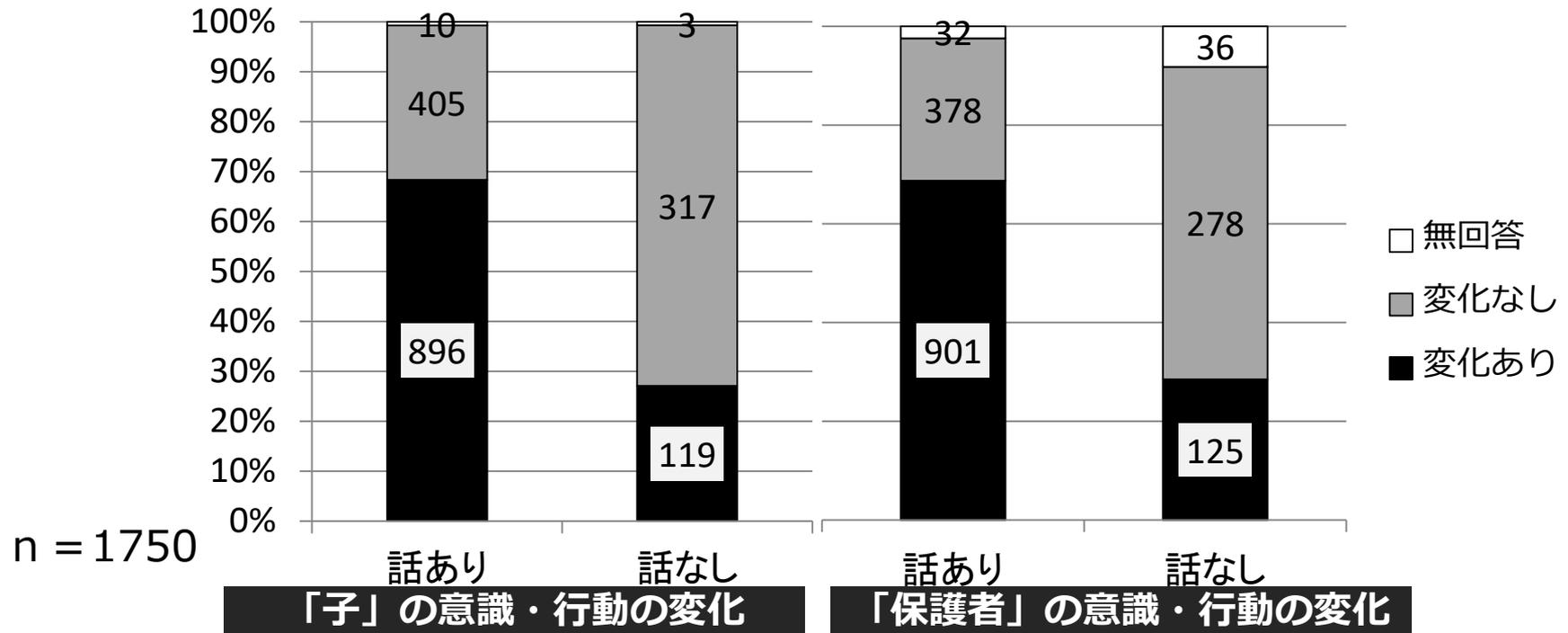


賞味期限と消費期限について

◇ 小学3年生への環境教育

環境教育の効果検証(家庭向けアンケート結果)

◆ 家庭での話の有無と、子と保護者の意識・行動の変化の有無の関係 (H29年度)



・ 家庭での話があったときは、なかったときに比べて、子と保護者ともに **意識・行動の変化の割合が高い**

→ 家庭で話をする年代への環境教育は、**家庭への波及効果が高い**

◇ 第1回食品ロス削減全国大会の開催

<6. その他/今後の取組み>

松本から発信!
食品ロスを減らそう!



- ・ H29年**10月30日**開催
(31日は自治体研修会開催)
- ・ 主催：松本市・全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会
- ・ 共催：環境省・農林水産省
・ 消費者庁
- ・ **東京2020公認プログラム**として開催
→東京オリ・パラでも食品ロスが課題に
- ・ 来場者：800人（1日目）、150人（2日目）

<トークショー ゲスト>

食育インストラクター
和田 明日香さん

元大関
把瑠都さん



<ミニ講演 講師>

気象予報士
菊池 真以さん



◇ 新しい取り組み（課題と対策）

事業系食品ロス

- ① これまでとは異なる方法での周知啓発
- ② 事業所での食品ロス発生状況の把握

課題

家庭系食品ロス

- ③ 手つかず食品の廃棄抑制（賞味期限・消費期限の違い等）
- ④ 家庭版30・10運動の周知

	課題	内容
対策	①	絵本の作成、環境教育用動画の活用による 環境教育の充実 松本山雅FC との連携の継続
	②	第3回食品ロス調査（家庭＋事業所） の実施 → 結果の分析
	③	小売店 と連携した周知・啓発
	④	「食品ロス削減の日（10月30日）」 を中心とした全国キャンペーンとの連携